

2023年3月箱根・名寄高校14期首都圏同期会の報告

「お、久しぶり。60年ぶりかな？」
「レスリングの清水くん？なつかしいなあ」—— 3月12日、箱根湯本のホテルに14人があつまった。F組の師井くんは1962年（昭和37年）卒業以来の再会、A組の清水くんも50年ぶり、五十嵐くん、古田君も10年ぶりくらい。古賀さんは遠く福岡から来てくれた。長い間、会っていなくてもそこは名寄高校14期の面々、気持ちはすぐ通じていった。

夕食前、大部屋で交流会。全員でまず校歌をうたい、首都圏同期会代表の片岡くんから「元気に再会できたことじつにうれしい」とのあいさつ、そのあと、ドクターストップがかかり直前になって出席できなくなった、ぎっちゃんさん（山田達也先生）にスマホで電話、声は元気で一安心、全員と話してもらった。札幌の田村大二、平賀睦男くんらにも電話し話ができたともうれしかった。（今後はラインでテレビ電話活用も考えた方がいいかなと思った）

夕食の食堂、お風呂でしゃべりあい、寝る前にはまた交流会をもち、全員が近況報告、家庭菜園やっている方も複数おり、「若いとき妻に苦勞をかけたので、いまは包丁をにぎり僕が料理している」との片岡くん「へえ、ほんと？」と。

翌朝、別れのときに、「今後も生きていくかぎり二人になってもやるべし」という松浦くんの声におされ、来年以降もやっていくこと、今回のメンバーは生きていけるならまた再会しようと約束しあった。久しぶりの再会はじつに楽しく、人生における友の存在の重みを感じさせてくれた。（村瀬記）

出席は、A組 片岡幸雄、齊藤真人、倉沢学、清水守

B組 五十嵐務、森千恵子、稲澤義則

C組 松浦優、石川寛、村瀬喜之

F組 師井優、古賀美代子、古田和彦、細谷利男

